



多高図書館だより

第 72 号

平成27年7月27日

宮城県多賀城高等学校

図書委員会

活かす読書

教頭 佐々木 克敬



フランスの哲学者であり数学者であつたデカルトは

『良き書物を読むことは、過去の最も優れた人達と会話をかわすようなものである』と述べています。また幕末の思想家である吉田松陰は『読書というものは、最もよく人の心を変えるものである。書というものは、何と恐るべきものだろうか』と述べています。

人は、時代を超えて、あるいは空間を超えて直接会って話をできるとは限りません。しかし、書物を通してなら、そのようなことも可能です。過去の優れた人物、異なった文化で育った人々の人生から多くのことを学ぶことができます。場合によっては空想の中で彼

らの人生を疑似体験することも可能です。自分が困難に直面したり、考えや行動に迷いが生じたとき、過去と現在であつたり、おかれた環境が異なつていても書物の中には必ず相通ずるものを見いだすことができるものです。特に良い本には偉人・賢人の見た風景、思い描いた夢、乗り越えた試練が書かれています。人は一冊の本を通し著者と会話を重ねることで、自分を変えることができるのです。悪戦苦闘している自分、自らの立ち位置がわからなくなっている自分、これらを客観的に照らし出してくれるのが先人の声である本なのです。

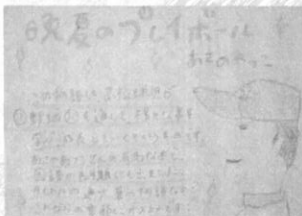
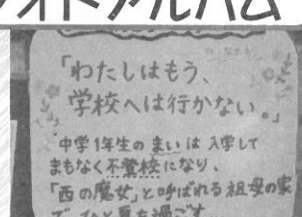
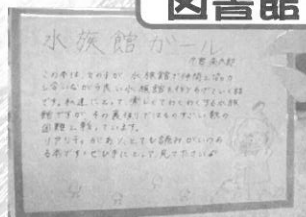
また、読書は知識を増やします。過去の人々が何年もかけて発見したこと、考えたことを、本を用いれば数時間で吸収することさえ可能なのです。もっとも典型的な本としては、教科書があげられるのかもしれませんが、人類の知の蓄積が簡潔明瞭に記されているとい

う意味において、教科書は良書の一つなのかもしれません。過去より現代の人間、現代より未来の人間は、先人たちの知の蓄積を吸収し、人類として日々進歩しています。しかし、真の進歩のために知識を吸収するだけでは実は不十分なのです。知識を増やすだけではなく、そこで得た知識を活かすことの方が重要であり、私たちが先人を取り越えていくことが本当の使命なのです。

単に知識を取り入れて吸収するのではなく、自分で咀嚼し、活かしてこそ知識が知恵となります。学術論文のような知の塊を読むことで新たな知の創出につながる必要があります。一方では純文学と呼ばれる、人生における葛藤の様子について知ること、自分自身の葛藤の道しるべとする必要があるかもしれません。また、人間の存在価値そのものを問う哲学書を読むことで、自分を客観視する必要があるかもしれません。読書は日々成長するための栄養素そのものなのです。



図書館フォトアルバム



新着図書紹介

沈みゆく大国アメリカ…逃げ切れ！日本の医療

堤 未果

若冲

澤田 瞳子

ブラック・ベルベット

恩田 陸

ティーンズ・エッジ・ロックンロール

熊谷 達也

劉邦

宮城谷昌光

忘れられた巨人

カズオ・イシグロ

透明カメレオン

道尾 秀介

頂点への道

錦織 圭

英国一家、日本を食べる

マイケル・ブース

僕は、そして僕たちはどう生きるか

梨木 香歩

麦の海に沈む果実

恩田 陸

奇面館の殺人

綾辻 行人

よだかの片思い

島本 理生

維新の肖像

安部龍太郎

過ぎ去りし王国の城

宮部みゆき

教団X

中村 文則

流

東山 彰良

「歩きスマホ」を英語で言うと？

石山 宏一

ラグビー校長、体罰と教育を熱く語る

大八木淳史

中村修二の反骨教育論

中村 修二

竹と樹のマンガ文化論

竹宮恵子・内田 樹

大きらいなやつがいる君のためのリベンジマニユ

アル

豊島 ミホ

ぼくたちのアリウープ

五十嵐貴久

海の翼…エルトゥールル号の奇蹟

秋月 達郎

10代からの情報キャッチボール入門

下村 健一

地下鉄サリン事件20年被害者の僕が話を

聞きます

さかはらあつし・上祐 史浩

楢円の流儀

藤島 大

「国際協力」をやってみませんか？

山本 敏晴

未来につながるボランティア…高校生のための

ボランティアハンドブック

藤田 久美

有頂天家族 二代目の帰朝

森見登美彦

リバーズ

湊 かなえ

みをつくし料理帖

高田 郁

オリンポスの神々と7人の英雄

リック・リオードン

国境のない生き方

ヤマザキマリ

荒木飛呂彦の漫画術

荒木飛呂彦

編集後記

三年一組 木村 百花

まず、今回本の紹介をしてくださった先生方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

図書委員会では日々、アイデアを出し合いながら、利用者が本の貸出をしやすいよう活動しています。最近ではオーブンスクールに向けて、本の紹介や七夕飾りを作りました。本の紹介は図書室前の廊下や昇降口前の黒板にも掲示していますので、是非御覧ください。

また、利用者の希望で様々な種類の本を貸出できるようにしています。

この機会に、まだ図書室を利用したことがない人も是非一度図書室に足を運んでみてください。これからも利用者のために、より良い活動ができるよう努力していきたいと思ひます。

★夏休みの図書室開館情報★

- の日は開室日です。×の日は閉室します。
開室時間は 9:00～16:00
予定が変わるときは、図書室入口に掲示します。
- 7月21日～7月31日まで、本の貸出は5冊までOK！
返却期限は8月20日（開講日）です。

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土・日 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|
| | 7/21 ○ | 7/22 × | 7/23 ○ | 7/24 ○ | 閉室 |
| 7/27 ○ | 7/28 ○ | 7/29 ○ | 7/30 ○ | 7/31 × | |
| 8/3 ○ | 8/4 ○ | 8/5 ○ | 8/6 ○ | 8/7 × | |
| 8/10 × | 8/11 × | 8/12 × | 8/13 × | 8/14 × | |
| 8/17 ○ | 8/18 ○ | 8/19 ○ | 8/20 ○ | | |